

# 爆発物使用テロ対処合同訓練

2月26日(火)、日本医科大学付属病院と、警視庁駒込警察署が合同で「爆発物使用テロ対処合同訓練」を行いました。

この訓練は、爆発物使用テロ容疑事案発生を想定した関係機関との合同での立ち上がり、トリアージ、負傷者救護、不審物に対する初動措置等の訓練を通じ、実践的な対処能力の向上を図ることを目的としています。

訓練には、本学職員、駒込警察署員をはじめとする警視庁関係者のほか、東京消防庁本郷消防署の救急隊員など合計約40名が参加。テレビ局による取材があり、複数のニュースで報道されるなど、メディアの関心の高さも伺えました。



署長に訓練の開始を報告!!

## テロ発生!! ①立ち上がり訓練

日本医科大学付属病院の職員が、待合室ソファに不審な男を発見。警備室に連絡するとともに、「大丈夫ですか」と声をかけたところ、男が騒ぎ出し、通報で駆け付けた警備員は警察に通報。男は激昂し、「これが何か分かるか、爆弾だ」と言いながら、手製爆弾を待合室内に投げつけました。



うるさいほっとけ!

大丈夫ですか?



110番通報!

警察を呼んだな!?

爆発!

## 犯人逃走! ②犯人制圧訓練



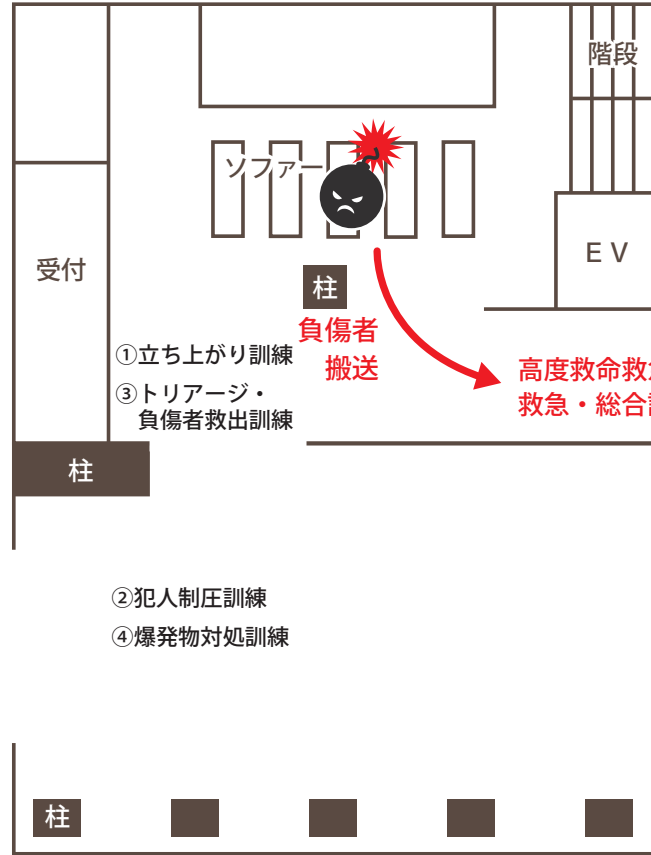
パトカーが到着!!

爆弾を投げた犯人は、正面出入口の方へ逃走。110番通報により駆け付けた警察官が、逃げてくる犯人と出くわします。

犯人はさらに爆弾を投げるも不発。武器を振り回します。警察官は通行人の避難誘導を行い、大盾や刺又などの装備を活用し、被疑者を制圧、検挙実施し、銃刀法違反容疑で現行犯逮捕しました。



確保!!



## 不発爆弾の処理 ④爆発物対処訓練

機動隊爆発物処理班によって、不発爆弾を処理する手順が確認されました。過去には動かただけで爆発する仕掛けによって犠牲者が出たことがあり、警察官が直接触れることなく処理できるよう対策が進められたとの説明がありました。見学者が見守る中、様々な装備が登場し、爆発物は安全に処理されました。



## ③トリアージ・負傷者救出訓練

患者待合室では、犯人が投げた爆弾が爆発しました。負傷者多数のため当院だけの治療は限界があり、事務職員が東京消防庁に対し、他院への患者搬送を依頼します。

現場には規制線が設定され、駒込警察署員によって爆発現場の安全確認が実施されました。

安全確保が確認されると病院職員の立ち入りが許可され、トリアージが開始されました。また、歩ける負傷者は警察官により誘導されました。



痛い...

より現実に即した訓練を行うため特殊メイク(ムラージュ)を施しました

詳しくはP.13へ



安武副院長と倉田署長の挨拶があり、最後に全員で集合写真を撮って終了しました。

2020年のオリンピック、パラリンピックに向けたテロ対策の必要性が叫ばれる中、今回の合同訓練は貴重な機会となりました。

今後も日本医科大学付属病院は各関係機関と協力し、安全対策に取り組んでいきます。